

i k i 生 き 粋

「生き粋」とは…

- 趣味や生きがいをもつ
- 新しいことに挑戦する
- 人や社会とつながる
- 「ありがとう」を忘れない
- 「オシャレ」を楽しむ
- 健康に気を配る

発行・編集 三春町教育委員会生涯学習課

【巻頭言】



すべてのみなさんの「教育」
と「教養」のために

三春町教育委員会教育長
添田 直彦

『生き粋』発刊おめでとう
ございます。

三春町内のすべての地区
に高齢者学級があり、そし
て、それぞれの学級で皆さ
んのアイデアが生かされ
た活動が進められているこ
とは、私の大きな自慢です。
生涯学習課の大きな目標で
ある「学びたいときにいつ
でも学べる環境づくり」が
こうして、各地区で実践さ
れているのですから。

身体が健康であり、心が
健康であり、そして自分と
人とのつながりがうまくい
っていることこそが幸せで
あり、最近では「ウェル・ビ
ーイング」と呼ばれていま
す。そのために何よりも大
切なことは、みなさんに「教
育」と「教養」があることだ
す。もっとわかりやすくい
うと「今日行くところ」と
「今日用があること」です。
それぞれ別の学級で、そし
て学級同士が連携すること
で、お友達を増やし、毎日
ももっともっと楽しくしてい
きましょう。

【学級生紹介】



明徳大学に入学すること
になった経緯

明徳大学第五三期生
佐藤 明子

私は現在七六歳です。七
〇歳を迎える頃から体に不
調が現れ、気分も落ち込み
がちでした。
そんな時、岩江地区で開
催されているサロンの存在
を知り、思い切って参加し
てみたところ、とても楽し
く、お友達もできて、お庭を
見せていただいたり、お茶
やランチを一緒にしたりと
交流の輪が広がり、心も身
体も頭も動き始めてきたよ
うです。
そんな中、「元気がいい」
の集まりに参加した際、明
徳大学への入学を勧められ



【移動学習の様子】沢石さわやか学級
(6月11日JAXA角田宇宙センター)

たことが、入学のきっかけ
となりました。
私は夫の仕事の都合で福
島市から郡山市に引っ越し
ましたが、福島市が恋しく、
長年通っていた茶道やパッ
チワークの教室には今年の
三月まで通っていました。
そのため、明徳大学一年生
の時、活動日と重なること
も多く、欠席が続いてしま
いました。しかし、片道二
時間の移動が体力的に厳し
くなり、三月で教室を退会。
これからは明徳大学二年生
としたいと思います。教養講座
では裁判員制度など、知ら
なかったことを学べてスッ
キリしました。
今は「元気がいい」や体
操、ヨガ、卓球などで予定が
いっぱいです。これから
身体を動かす楽しさを大切
にし、できるだけ長く元氣
に過ごしていきたいと思っ
ています。

明徳大学に入学して

明徳大学第五四期生
渡邊 絹子

春先、明徳大学の募集の
話や昨年度のカリキュラム
内容をお聞きし、是非参加
したい、入学しようと思
いました。また、今年度は五十
四期という数字を見て、随
分長く続いていることも知
り、驚きました。
四月は、入学式後に教育
長さんから講話をいただき
たのですが、都合で参加で
きず、残念に思いました。
五月には、歴史民俗資料
館企画展示室で開催中の
「春季企画展身近な神さま
仏さま」を、学芸員の渡邊日
向先生より説明をいただき
ながら見学しました。渡邊
先生のお話しぶりから、三
春の文化に対して豊かな見
識と深い愛情が伝わってき
ました。歴史ある三春です
から、歴史的な物が沢山あ
ると思っていました。が、素
敵な仏様や神様が大勢いら
っしゃることを知って、本
当にうれしくなりました。
しかし、盗難に遭ってしま
われた仏様もいらっしゃる
とのこと、早くお戻りにな
られることを祈るばかりで
す。また、このようなことが
あった後の管理はどうされ
るのだろうか、と心配にもな
りました。
六月には、移動学習で、
「中間貯蔵事業情報センタ
ー(大熊地区)」「震災遺構浪
江町立請戸小学校」を見学
してきました。
除染で発生した土壌が保
管されている地面の上に立
ち放射線を測定しました
が、基準値よりはるかに低
い数値でした。また、遠くか
らではあります。また、第一原
発を実際に自分の目で見る



ことができずした。映像で
は何回となく見た原発で
すが、実際目の当たりにし
て、何とも言えない思いが
湧いてきました。誰のため
にこの発電所が設置された
のか。その発電所が津波に
遭い、放射線で汚染された
土砂を今は中間貯蔵施設で
保存しているのが、本当に
外に運び出せるのか。何と
も言えない思いが、湧いて
は、溜まっていきました。
移動学習に参加し、中間
貯蔵施設や第一原発、取り
残された放射線時間が止ま
ったままの介護施設、震災
後いつの間にか生えた松が
林になるほど育ってしまった
様子などを自分の目で見
たときは、切なくなると、何
もできないことに苛立ちさ
え感じてしまいました。
七月は、睡眠と健康につ
いての講話をお聞きしまし
た。この後も色々なカリキ
ュラムが計画されています
が、どの回も興味深く、役
立ちそうな内容でとても楽
しみです。
定年退職し十年以上経ち
ましたが、自分から新しい
ことを学ぶのは、いくつに
なっても楽しいですし必要
なことだと思っています。
明徳大学入学をきっかけに
新たな学びが、新たな交流、
新たな楽しみが繋がってい
くと思っております。
同級生の皆様、まほらの
皆様、よろしく願います。



要田ひまわり学級の活動について

要田ひまわり学級庶務 佐藤 正悦

常日頃、町づくりや要田地域づくり等にご協力頂き有難うございます。

我々「ひまわり学級」は地域の皆さん方と一緒に、町長さんや教育長さん等にお出で頂き町づくりの考え方や動きを将来像を聞いたり、又警察署や消防署、町立三春病院の方々は、オレオレ詐欺や交通事故防止、火災予防と緊急通報訓練、そして健康の維持管理や健康寿命を更に伸ばすには等の講座を受講し、学習意欲や健康増進の維持向上に努めております。

又、年に数回は日帰り学習会や宿泊学習会を通じた親睦の場を設け、更には毎月要田交流館大平荘において「ひまわり学級」を開催しております。開催にあたっては会員の皆さまの意見を伺いながら年間計画を作成し、自分たちで資料作成や司会進行等を行いつつ、会の運営を図っております。同じ要田地域に住む皆さん方も一緒に町づくり地域づくり、そして会員の皆さん一人ひとりの健康・心の健康・健康貯金等の一助に活用してみたいは如何でしょうか。多数の方々参加をお待ちしております。



【移動学習の様子】舞鶴大学(6月24日多賀城跡附寺跡)

清明学級活動について

御木沢清明学級庶務 橋本 清二



御木沢清明学級の名称は、三代前の委員長さんが発案し名付けられた名称です。二四節氣の一つである清明を用いています。四月四日頃から四月十九日頃までの期間を指し、万物が清らかにいきいきとし、花が咲き、若葉が芽吹くなど、春の生命力に満ち溢れた様子を表す言葉です。御木沢は、平沢、御祭、七

草木、元町、栄町の五つの地区で構成されています。御木沢清明学級は現在会員が三一名で、各地区から選任された幹事と、委員長、副委員長、庶務、会計で役員を担い、毎月一回程度の事業を計画し、「楽しく、元気に、和気あいあい」とをモットーに実施しているところであります。

二月の閉講式は、皆勤賞の授与後に生涯学習課長より生涯学習課の事業内容の講話です。三月の総会は、一年間の総括と、新年度に向けた事業計画案の審議が行われます。

また、町バスを使用して移動学習と宿泊研修を実施しています。町バスで春と秋の二回行います。今年は、五月の二回行います。今年は、業セクターを訪れ、大熊地区の中間貯蔵施設をバスに乗って見学をしました。東日本大震災から一四年が過ぎるの福島県の復興・環境再生への取り組みを発信する施設です。九月には茨城方面への視察見学を予定しています。

また、町バスを使用して移動学習と宿泊研修を実施しています。町バスで春と秋の二回行います。今年は、五月の二回行います。今年は、業セクターを訪れ、大熊地区の中間貯蔵施設をバスに乗って見学をしました。東日本大震災から一四年が過ぎるの福島県の復興・環境再生への取り組みを発信する施設です。九月には茨城方面への視察見学を予定しています。



【学習会の様子】左の写真は、中妻すずらん学級(6月20日グラウンドゴルフ)。右の写真は中郷さくら学級(5月15日防犯教室)

くまで話題が豊富で、しゃべり疲れるほど賑やかに情報交換が行われます。今年度は、六月に会員の希望により田村農業普及所の技師から「野菜の病害虫対策について」と題する講話を聴きました。十二月には、元衆議院副議長による国会に係る講話を頂くべく調整を進めているところですが、また毎年開催される地区文化祭に出展するため、今年十月に「三春駒の絵付け教室」を実施します。

【編集後記】三春町内には、各地区にある七つの高齢者学級と明徳大学一・二年生、合わせて九つの高齢者学級があり、合計で約三百人の学級生が、それぞれの高齢者学級で生き生きと活動しています。私は、長く小学校の教員を務めてきましたが、一時期社会教育行政に携わる機会がありました。公民館訪問等で、多くの市町村の高齢者学級の活動の様子を見聞きしてきました。そして三春町のように、町内の各地区に高齢者学級が存在し、しかも、各学級が学習計画を作成し自主的に活動している市町村は、どこにもないといふことを知りました。「三春町の宝は？」と問われれば多くの人が「滝桜」と答えるでしょう。私は、高齢者学級の存在も、同じように三春町の宝だと感じています。しかし、少子高齢化の影響は町内の高齢者学級の運営にも影を落としているのが現状です。高齢者学級の活動を持続可能なものとし、さらに活動を活性化させていくことは喫緊の課題といえます。



【学習会の様子】岩江さくら峠学級(5月21日春季企画展)